北海道浮魚ニュース

平成 10（1999）年度 17 号　（通巻　No.63）

1999 年 9 月 14 日

北海道立中央水産試験場　Tel :0135-23-8707　Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場　Tel :0154-23-6221　Fax :0154-23-6225
函館水産試験場　Tel :0138-57-5998　Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場　Tel :0162-32-7177　Fax :0162-32-7171
網走水産試験場　Tel :0152-43-4591　Fax :0152-43-4593

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

ほとんどの目視全調査地点でサンマ確認。ただし個体数は少ない。魚体は例年に比べ大型。

1999 年 9 月 6 日～9 月 9 日の間に行われていた，稚内水産試験場試験調査船北洋丸によるオホーツク海わが国 200 海里水域内におけるサンマ漁期前調査が終了しました。結果の概要は以下のとおりです。

1. 調査海域における表面水温は 16～19℃台で，昨年同期に比べ 1～2℃高く，サンマが分布するにはまだやや高い状態でした。
2. 夜間，停船・点灯しての目視調査では，ほとんどの目視調査地点でサンマが確認されました（図１）。しかし，漁獲の対象となるほどの高密度の魚群はまったく認められず，目視された個体数は，各調査地点とも数尾～50 尾程度でした。
3. 目視された魚体はほとんどが体長 20～30㎝ 前後のもので，漁獲対象サイズの個体でした。
4. 航行中の探照灯による探索調査では，主に西寄りの調査海域で，サンマのハネが確認されました。
5. ３調査地点で流し網（刺網）による漁獲調査を行いましたが（図１），漁獲されたサンマはわずかでした（表１）。
6. 流し網の他に，たも網と釣りによる漁獲物を含め，漁獲されたサンマは，体長 23㎝ 台と 30㎝ 台に組成の峰を持ち（図２），例年のオホーツク海におけるサンマの体長組成に比べ大型でした。
7. 漁獲調査を行った調査地点ではカタクチイワシ（体長 13～14㎝）が多く漁獲されたほか（表１），探索調査中にもカタクチイワシと思われるハネが広範囲に確認されました。

この調査結果も参考にして，近日中に「平成 11 年度オホーツク海のサンマ漁況予報」が発表される予定です。

（文責　網走水試資源管理部）

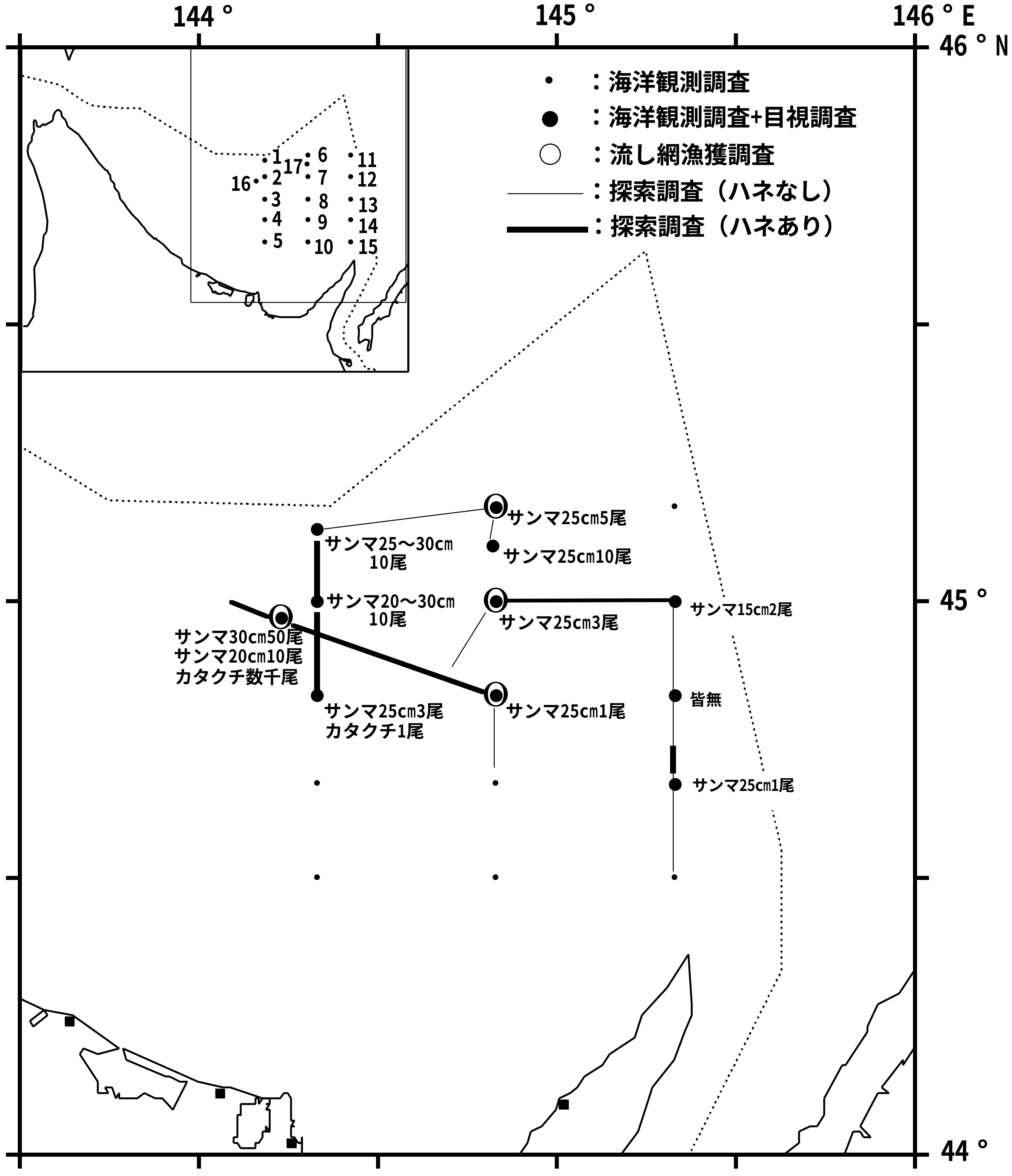

図１　北洋丸による漁期前調査時（1999 年 9 月 6 日～9 月 9 日）の探索・目視結果

表１　流し網による漁獲調査結果

ST	北　緯	東　経	敷設時間	集魚灯	目　合	反数	ｻﾝﾏ	ｶﾀｸﾁｲﾜｼ	ｽﾙﾒｲｶ
6	45°10′	144°50′	3時間	消灯	29㎜	1	3	79	0
					37㎜	1	1	11	0
7	45°00′	144°50′	3時間	点灯	29㎜	1	7	20	0
					37㎜	1	11	1	0
8	44°50′	144°50′	3時間	消灯	22㎜	1	1	195	0
					25㎜	1	0	128	0
					29㎜	1	0	507	1
					37㎜	1	0	10	1
16	44°58′	144°15′	10分	点灯	22㎜	1	0	195	0

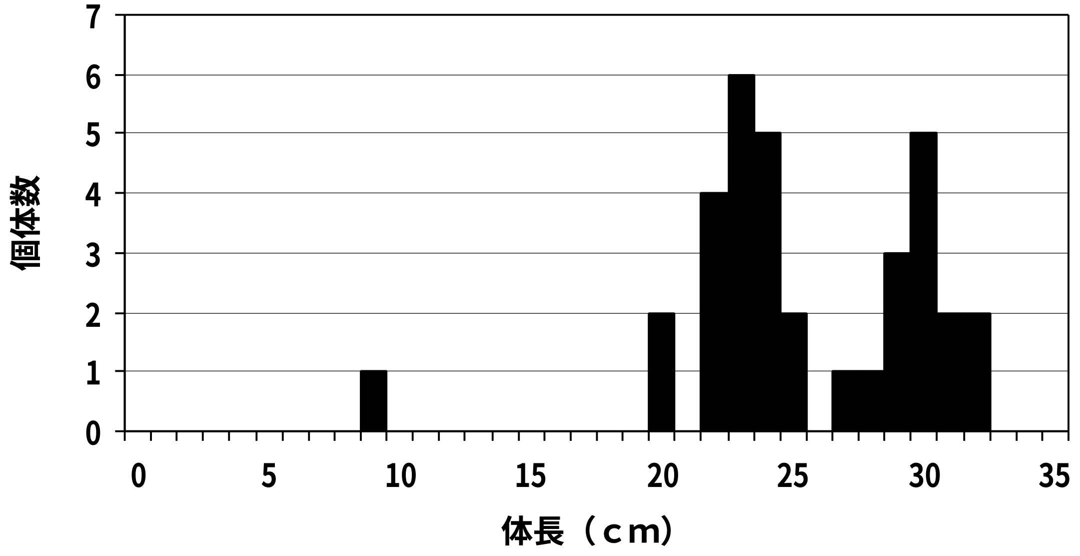

図２　流し網，たも網および釣りで漁獲されたサンマの体長組成
（漁獲全個体数を合成）